



BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は 1984 年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸いです。

■2018 年度(平成 30 年度)賛助事業 第 186 回 理事会で決定される

今年度の賛助事業計画については 2018 年 1 月 27 日の第 186 回理事会において下記の通り決定いたしました。

①地区ラリー	130,000 円
②ボルチモア交流事業	200,000 円
③ビーバー祭り	30,000 円
④ボーイスカウト講習会	50,000 円
⑤ボーイスカウト野外活動講習会	20,000 円
⑥白梅隊	50,000 円
⑦スカウターズフォーラム	20,000 円
⑧プログラム研究会	20,000 円
合計	520,000 円

今年も会員の皆様のご理解のもとに、このような財政支援ができることになりました。ありがとうございました。

■平成 29 年度の賛助事業報告

川崎地区委員長 境 紳隆

《白梅隊第 4 6 期》

平成 29 年 7 月 16 日(日)～17 日(月)、白梅隊第 4 6 期の一泊ハイキングが実施されました。第 4 6 期には 24 名のスカウトが参加。5 月 28 日(日)に結隊式を行い、ハイキングの準備や大型工作物の製作訓練等を経て、ハイキング実施へと至りました。

ハイキングでは JR 足柄駅を出発し、矢倉岳を登り、夕日の滝でテント泊。翌日は、金時山、明神

ヶ岳を縦走し、強羅をゴールとするコース。テントや食料等、すべての装備を持つての長時間ハイキングは初めてのスカウトも多く、また、強烈な暑さも手伝って多くのスカウトがバテバテ。しかし、多少の遅れはあったものの、全員が無事ゴールできました。この経験を是非今後の活動に活かして貰いたいものです。



《GATC 川崎第 2 5 期》

現在、ボーイスカウト川崎地区では、ゴールデンアックストレーニングコース(GATC)川崎第 2 5 期が結成され、20 名のスカウト達が概ね月一回のペースで集まってプログラムを展開しています。

GATC はベンチャースカウトを対象として隔年で実施しているもので、元々は横浜地区・県央地区も開催していましたが、今ではカラーチームに衣替えし、GATC として活動しているのは川崎地区だけとなりました。普段は別々に活動している各団のスカウトが特別隊を編成し、半年以上に亘って様々なプログラムを展開します。

第 2 5 期は、平成 29 年 9 月 16 日(土)に結隊し、一泊ハイキング、大型工作物の作製、雪かき体験等様々なプログラムに挑戦してきました。現在



は、5 月に迎える最終プログラム「100 km ハイキング」に向けて準備を行っています。

まだ、プログラムの途中ですが、こ

ここで経験したことや一緒に活動した仲間との絆を大切にしたいと思います。

今後も川崎地区としては、年代毎の合同プログラムを活用して活動の活性化を図り、次世代の活動を支える若いリーダーの育成を進めて行きたいと考えています。

《川崎地区B-P祭》

平成30年2月4日（日）、ボーイスカウト川崎地区主催の「B-P祭」が幸市民館で開催されました。皆様ご存知とは思いますが「B-P祭」とは、ボーイスカウトの創始者であるベーデン・パウエルの生誕を祝い、日々のスカウト活動を振り返るイベントです。川崎地区では、4年に1度川崎市内のスカウト関係者が一堂に会して開催しています。

今回は、川崎市内から11の団、700名以上のスカウト・リーダー他関係者が参加し、各団代表による音楽のコンテストやゲーム、B-Pの生涯を紹介したスライドの上映等が行われ、楽しく過ごしました。



■特別寄稿 【遥かなる地区奉仕】

第10回国民体育大会神奈川大会に参加して

川崎スカウトクラブ

百木幹雄

遠い昔の63年前（S30年10月）第10回国体が開催され炬火が川崎市内各地を回り雰囲気は最高潮でした。

神奈川県の横浜三ツ沢競技場を主会場に各市で他競技を実施、我が川崎市では5会場で5種目が行われました。

- ① 軟式野球…川崎球場（現アメフト場）
- ② 馬術…川崎競馬場
- ③ 相撲…富士見公園相撲場
- ④ バスケットボール…川崎市民体育館

⑤ 軟式庭球…富士見公園庭球場

上記5種目に対してボーイスカウト（以下BS）川崎地区として全面的に活動することとなり当時の川崎駅東口、南口にテントを設置（今ならブースと呼ぶ）。

その活動内容は

- ・全国から来川する家族、応援団に対する会場への道案内
- ・駅前での各種案内、誘導
- ・駅前周辺特に交通量の多い場所での交通整理

当時の川崎地区は13ケ隊（団）、日本鋼管隊は別会場で奉仕。



駅前テントを訪問する方が多く応対に四苦八苦で駅から主会場の富士見公園までスカウト、指導者が並び案内。私も毎日フル参加、高校1年生で特に体育会系クラブの部員は休講で各会場を手伝うように

との指示があり、本来はバドミントン会場での手伝いですが教師に地元のBSとして奉仕したいと伝え特別に許可されました（BSでの活動が認められた瞬間でした）。

駅前の交通量が多い場所、特に銀柳会～映画街（現チネチッタ）への横断する人々が多いところから交差点中央の指令台で手信号による整理が決定。

児玉団委員長、私を含め5分程度の訓練後いざ本番です。格好良い団委員長のあと私が70cm程度の台に乗りました。補助に小6の是スカウト（後に柴田投手と共に法政二高、甲子園大会夏春優勝の四番打者として活躍）を従え開始、笛を吹きつつ白手袋の両手を上にそして歩行者に手で合図（昔は全て）歩行者に事故があつてはならぬの一心で緊張しておりましたが、私の手信号で大型ダンプ、トラック、バスが目前で停止すると驚きと怖さで全身震えた感じを覚えております。

通行される人々も各会場とも私達BSの誘導をきちんと見守ってくれたことが何とも嬉しかった事でした。



児玉団委員長と当時の川崎第5隊

次は選手村についてですが、川崎会場の選手達は期間中、武蔵新城の日本鋼管集合社宅独身寮で生活されました。

当所は私の自宅の前ですから大変です。夜になると新聞、ニュースで知る選手ばかりでTVの普及率は低く、中継などありませんでしたが試合を終えた選手が集合され、まず川崎ゆかりのコロンビアの新人歌手島倉千代子さんが登場。葦簀張りの舞台上で「りんどう峠」「この世の花」など後の大ヒット曲を歌うと会場の選手達は大興奮でした。私も昼は朝から川崎駅前へ、夜は選手村への毎日で、ついに母から「勉強はいつやるのか」と一喝されました。受験はまだ先としてもすぐ中間テストを控えていたからです。



当時の川崎市役所と川崎駅前
右端に鋼管隊のスカウトが見える

10日間何の事故もなく奉仕を終えたとき役所の方から川崎地区BSに対し「本当にごくろうさまでした」のお言葉を頂いたとき嬉しさと喜びで一杯でした。

自らの取組で行動することによりほかの世界を知ることができる貴重な体験でした、まさにBSの永遠のテーマ「体験して学ぶ」そのものでした。2020年、再び東京オリンピックに対しボランティア募集も始まるとか、、、川崎会場での地区奉仕は「参加できてよかった」と感謝の毎日として残っております。

【シリーズ】

■賛助会のあゆみ(第4回)

賛助会 副会長 近江廣之

賛助会と地区協議会は、賛助会ができてからすぐに共同の行事を行うようになります。

1985年に第1回のボルチモア派遣の川崎隊の堂本副長にお願いして、手持ちの日本のワッペンを50枚くらい渡し、アメリカのワッペンとの交換をお願いしました。

この年の夏にアメリカのジャンボリーが開催され、その見学に行くプログラムがありましたので、、、、

堂本氏はこのワッペン交換を有効に活用し、帰国したときは約150枚の数になっておりました。

その年の秋の川崎地区ラリーに売店を開きたいとの希望を地区にお願いし、テーブル・イス・マーキーテントを設置していただき売店を開きました。

この年から地区ラリーおよびビーバー祭りに売店を出させていただき売り上げを計上、2010年まで地区行事に売店を出すことができました。この間、地区協議会はその年の地区ラリーの参加章のあまりを賛助会に寄付していただき、次の年に販売するという方式で長い間、協力をいただきました。



一方、会員の方々、理事会の方々より自発的に販売できる物を寄付していただきました。ワッペン、石、スカウト用品、バッジ、ボルチモア派遣の指導者の方々の何人かから個人のお土産をいただいたり、先方へのお土産の残り物を賛助会で買い取ったりもいたしまして、お互いにより方向になるよう協力しました。

私も萩原さんから寄付していただいた、チーフリングの型抜きした革を毎回出し、金型で動物などを打ち、着色をして販売をしました。合計では500個位を作りました。また、自分で考えた木工の小さなナイフの飾り物を何年間に別けて500個位は作って販売しました。

この地区ラリー(途中からビーバー祭り)での販売は皆様に声掛けをして品物を集める事もなく2011年をもって終了いたしました。累計312万円の実績を残すことができました。

この地区行事の中で協力を得られたことは、大変大きな力になっておりますが、ここでご購入していただいた地区の参加スカウト・指導者および保護者のかたがたのご協力がまわり廻って川崎地区の運営に役立っていることがなによりのよろこびになっております。

物品を提供していただいた地区の方々、売店を運営しました賛助会の理事の方々、買っていただいた方々、皆様の力が一つになり大きな成果をあげることができました。

■第187回 理事会報告

平成30年3月25日 川崎市総合自治会館に於いて理事会が開催され次の項目につき報告、審議検討され決定しました。

1. ブーメラン4号をニューイヤー・パーティーに於いて配布し、さらに会員全員に対し郵送を完了した。
2. また5号を賛助会総会に於いて配布することを決定し、同様に会員へ郵送することとした。
3. ニューイヤー・パーティーのオークションの売上実績は127,800円となり賛助金へ納入した(前述のとおり)。
4. 総会について
総会・懇親パーティーを平成30年6月10日に川崎市総合自治会館にて開催することを決定した。
5. 各理事の役割分担については引き続き検討する。

■ニューイヤーパーティ報告

平成30年1月27日 川崎市総合自治会館 ホールにおいてニューイヤーパーティーが開催されました。当日は参加者81名で盛大行われ、恒例のオークションでは皆様のご協力により127,800円の売り上げがありました。

◆ちよつと一休み

皆さんは米国のノーマン・ロックウェル(Norman Rockwell, 1894年2月3日 - 1978年11月8日)という画家をご存知ですか? 彼は軽いタッチで米国の市民生活を描き、米国連盟の雑誌 *Boy's Life* の表紙を長く書き続けた画家です。筆者も彼の大ファンであり、少年時代からこれらの絵を通じて米国や米国のスカウティングにあこがれてきました。



機会があれば少しずつご紹介したいと思います。

題名:

[A-Scout-Is-Helpful](#)

■賛助会員の分布(2018年5月末日現在)

- ・正会員・・・78名
- ・準会員・・・10名
- ・法人・・・10
- ・団体・・・14

■昔の写真を探しています

賛助会草創期の活動に関する写真を探しています。ダンスパーティー、アゼリアカップ(ゴルフコンペ)、ニューイヤー・パーティ等の写真をお持ちの方は事務局へ是非ご提供ください。プリントの写真の場合はスキャンした後ご返却いたします。是非皆様のご協力をお願いいたします。

■賛助会ホームページの紹介と 会員募集のご案内

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準会員(年会費) 一口 2,000円
- ・個人会員(年会費) 一口 5,000円
- ・団体会員(年会費) 一口 10,000円

なお、個人会員ならびに団体会員には当会の審議事項に関し議決権を有しますが、準会員につきましては議決権はございません。

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

また、当会の意会員申し込み用紙は下記の賛助会ホームページからダウンロードできますのでご活用ください。

【お問い合わせ】

- ・賛助会事務局(会員担当:鈴木)

E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org

【賛助会ホームページ】

<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、400字程度の原稿と写真を是非お寄せください。送り先は上記賛助会事務局へお願いいたします。



●編集後記

新緑のこの時期には何十年もキャンプに出掛けていた。そして何よりも楽しみなのは溪流釣りだ。早朝から夕飯まで釣っているのだ。釣れるかって? そうは問屋が卸さない。水の流れを見ながら自然と対峙する、魚との真剣勝負だ。それが何よりも楽しい。真剣に向き合った後には悔いは残らないものだ。(H)